



先輩職員インタビュー

Staff interview



感謝忘れず日々成長

【現所属】 市民生活部 生活環境課

経歴

〇令和5年4月1日入庁 市民生活部 生活環境課

主な業務

個人設置型浄化槽に関する業務



与一の里
大田原

どのような時にやりがいを感じますか？

身につけた知識で、市民や業者の方からの質問に答えられたときにやりがいを感じます。

初めは右も左もわからない状態で、関係する法令と多数の届出の内容を覚えることが難しく、苦労しました。しかし、業務を重ねていくうちに知識が身に付き、市民や業者の方からの質問に答えられたときには、大田原市の職員の一員として働けていることを実感でき、大きなやりがいを感じました。

入庁前後の印象を教えてください

入庁前は、直接市民の方と接する窓口業務のイメージが強くなりましたが、入庁して実際に働いてみると、インフラ整備や文化財の保護など、市役所の担当する業務の多さに驚きました。また、同年代の人と交流できる機会があり、相談できる人ができて安心しました。

今後について

まずは、現在担当している業務について

て知識を深め、主担当者として一人前になれるよう努力していきたいです。

上司からの一言

私たちの部署は、市役所の中でも特に市民の方との距離が近い部署であり、親切・丁寧・分かりやすい説明が求められます。また一方で、専門業者の方から指導・助言も求められるため専門知識の習得も必要となります。そのような中、市民の方には分かりやすく、専門業者の方には的確な指導を行えるよう努力している姿が見られます。

難しい案件については、担当者が一人で悩むことがないよう係・課内職員が常にコミュニケーションを取り相談し、安心して仕事ができるような職場環境作りを心掛けています。

市役所試験ではどのような対策をしましたか？

教養試験の対策は、試験の1か月半前から高卒程度の教養試験の問題集と苦手な数的処理の問題集を一冊ずつ購入し、三周ほど勉強しました。二次試験の対策は民間で働きながらだったので、あまり時間が取れませんが

でしたが、特に自己分析に力を入れました。

一度目の就活でも自己分析はしていましたが、背伸びをしていたところがあつたため、より実際の自分像に近い履歴書を作ろうと思いい、一から自己分析を始めました。改めて自己分析を行ったことで、自分がどんな人間かをより理解することができ、面接でも嘘のない自分の意見をスムーズに答えることができましたと思います。

受験生へメッセージ

私は大田原市外に在住しており、「市外の自分が受かるのは難しいかもしれない」と不安に思っていました。また、民間からの転職だったため、働きながら受験する不安もありました。しかし、民間で働いた経験が自信になり、試験だけでなく採用された後にも生かされていると感じます。また、実際に入庁してみると、市外から受験した人、転職をした人はたくさんいました。

もし私と同じように不安に思っている人がいたら、自分を信じて諦めずに頑張ってください。